

J101b *Swift*/BAT と *MAXI*/GSC を用いた広帯域トランジエントモニター

坂本貴紀, 小田悠馬, 吉田篤正 (青山学院大学)

“Time-domain Astronomy” (突発/時間変動天文学) は、今後 10 年間の天文学において、様々な新発見が期待されているフロンティア領域と言える。多くの突発/時間変動天体が幅広いエネルギー帯域でその時間変動を示すため、広帯域でそれらの時間変動をモニターできるシステムがあるのが理想である。我々は、2-20 keV と 14-195 keV というエネルギー帯域をそれぞれカバーする *MAXI* の GSC 検出器と *Swift* の BAT 検出器のデータを合わせた、リアルタイムでの広帯域トランジエントモニターの製作を進めている。このトランジエントモニターは、二つのエネルギー帯域の異なる広視野検出器のデータを合わせる事で、2桁のダイナミックレンジを達成している。また、我々のモニターはリアルタイムにデータ解析を行い、天体のライトカーブを誰でもアクセスのできるウェブページに公開する予定である。本発表では、我々の広帯域トランジエントモニター開発の現状について報告し、いくつかの天体について、*MAXI* と *Swift* の運用が重なる過去 5 年間の広帯域でのライトカーブを紹介する。